

第3章 計画の基本的な考え方

1 基本理念

本計画は、令和7(2025)年に向けた中長期的な視野に立った「地域包括ケア計画」としても位置づけられる計画であり、すでに「唐津市第8期高齢者福祉計画・第6期介護保険事業計画」からこうした視点からの計画として検討・策定していることなどを踏まえ、基本理念については「唐津市第10期高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画」を踏襲します。

**高齢者が住み慣れた地域で健康で
生きがいを持ち暮らせるまちづくり**

2 基本目標

基本理念の実現のために、次の3つの基本目標を柱とします。なお、この基本目標を進めるための各種施策の体系については本章の「4 施策の体系」を、各種施策の内容については「第4章 基本理念の実現に向けた施策の展開」に記載しています。

高齢者が住み慣れた地域で健康で
生きがいを持ち暮らせるまちづくり

**基本目標1 高齢者の社会参加と
安心して暮らせる体制の推進**

基本目標2 地域で支える体制づくりの推進

基本目標3 介護サービスの実施と質の向上

〈基本目標1〉 高齢者の社会参加と安心して暮らせる体制の推進

高齢者が、いつまでも住み慣れた地域で、役割や生きがいを持ち安心して過ごすことができるよう支援します。

具体的には、高齢者が培ってきた豊かな知識や経験を活かすための社会参加活動や生涯学習活動の支援、バリアフリー化や高齢者の活動拠点施設の整備などの高齢者にやさしいまちづくり、高齢者軽度生活援助事業などの高齢者福祉サービスの充実化などに取り組みます。

〈基本目標2〉 地域で支える体制づくりの推進

介護が必要になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、医療・介護・介護予防・生活支援・住まいが一体的に提供される地域包括ケアシステムの深化・推進に向けて、地域で支える体制づくりに取り組みます。

具体的には、市民主体の健康づくりや介護予防、自立支援の促進に取り組み、自助・互助・共助・公助による支援体制の充実を図ります。

ヤングケアラーや8050問題など、これまでの分野別の支援体制では対応困難な複合的な課題や狭間のニーズに対応するために、重層的支援体制を整備し、課題を抱える人やその世帯への包括的な支援を推進します。

また、関係機関・団体と連携し、多職種協働による在宅医療・介護連携の推進、地域ケア会議や生活支援体制整備の充実を図ります。認知症の人とその家族への支援として、認知症への理解を深めるための啓発や早期発見・早期支援の仕組みづくり、地域での見守り体制づくり等を推進します。

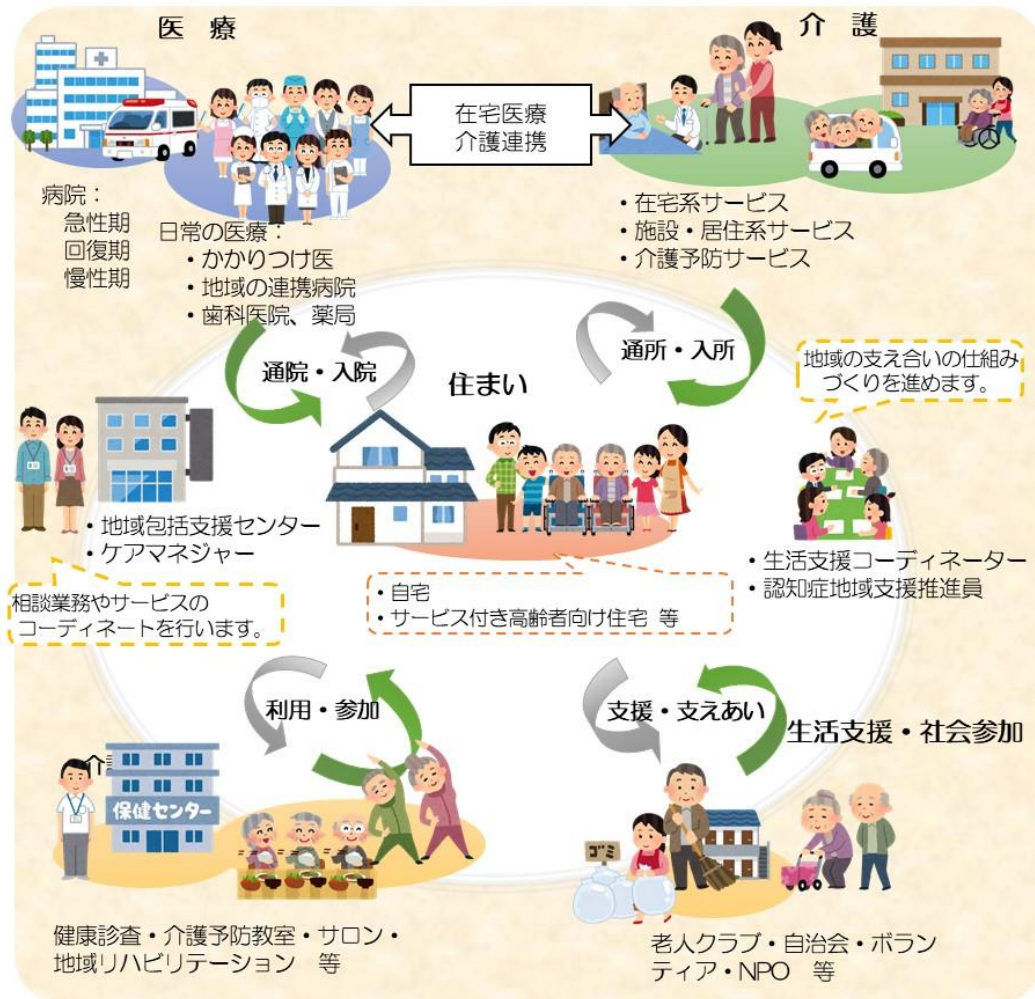
さらに、権利擁護支援として成年後見制度の利用促進のための体制づくりを推進します。

〈基本目標3〉 介護サービスの実施と質の向上

介護保険制度に基づき、介護給付や介護予防給付を実施するとともに、介護サービスの充実化・強化・適正化に取り組みます。

具体的には、利用者が安心して良質なサービスを利用できるよう、利用者の立場に立った相談・苦情対応・情報公開の体制を充実します。また、サービスの質の確保や向上を図るため、介護人材の養成・確保・専門性向上に取り組みます。また、認定調査やケアプランの点検等を実施し、サービスの適正化に取り組みます。

<地域包括ケアシステム>



3 重点的目標指標

(1) 第8期計画の重点目標指標の達成状況

第8期計画の9の重点目標指標の達成状況は、次のような基準で分類を行い、結果を取りまとめました。

達成度	概 要
達成	目標値を達成した指標
未達成(維持・改善)	目標値には達していないが、基準となる令和2年度の水準を維持、または改善している指標
未達成	目標値には達しておらず、令和2年度の基準値より下回った指標

◆第8期計画の重点目標指標の達成状況

主な指標		基準値 令和2年度	目標値			達成度
			令和3年度	令和4年度	令和5年度	
地域ケア個別会議 事例数 (件)	計画	82	82	82	82	未達成
	実績		36	36	36	
認知症サポーター養成講座 受講者(人)	計画	180	200	200	200	達成
	実績		361	331	300	
認知症カフェ(か所)	計画	1	2	2	2	達成
	実績		—	2	2	
介護支援ボランティア登録者 (人)	計画	210	210	210	210	未達成
	実績		134	163	190	
(生活支援体制整備事業) 啓発研修会(回)	計画	—	2	2	2	達成
	実績		0	1	2	
健康教育(延人数)	計画	1,600	2,800	2,800	2,800	未達成 (改善)
	実績		787	1,637	1,700	
健康相談(延人数)	計画	2,000	3,500	3,500	3,500	未達成
	実績		947	1,779	1,800	
自主サークル(か所)	計画	60	76	92	108	未達成 (改善)
	実績		67	83	93	
(再掲) 自主サークルのうち百歳体操 (か所)	計画	34	46	58	70	未達成 (改善)
	実績		42	51	59	

※基準となる令和2年度は、当時の見込値として算出したもの

(2) 第9期計画の重点目標指標

第9期の重点目標指標は、以下のとおりです。

区分	現状	目標			※参照 掲載か所
	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
地域ケア個別会議 事例数(件)	36	36	36	36	P69
認知症サポーター養成講座 受講者(人)	300	310	330	350	P74
チームオレンジ設置数(か所)	3	5	6	7	P81
介護支援ボランティア登録者(人)	190	190	200	210	P62
(生活支援体制整備事業) 啓発研修会(回)	2	2	2	2	P70
健康教育(延人数)	1,700	1,800	1,800	1,800	P61
健康相談(延人数)	1,800	2,000	2,000	2,000	P61
いきいき百歳体操教室等 自主サークル(か所)	91	101	111	121	P60

※令和5年度は見込値

地域ケア個別会議では多職種が連携し、自立支援・重度化防止の観点より個別事例の検討を行い、地域の実情に応じた地域包括ケアシステムの構築を図っていきます。

認知症サポーターを増やし、地域で把握した認知症の人や家族の生活支援ニーズと認知症サポーターを中心とした支援者をつなぐ仕組み(チームオレンジ)づくりを行います。

高齢者の社会参画や地域の担い手の養成、ひいては介護予防にもつながるボランティア活動の推進や啓発研修会を開催します。

介護予防や重度化防止に関する普及啓発として健康教育や健康相談を実施し、地域住民主体の通いの場である自主サークルや百歳体操ではリハビリテーション専門職等が参画し、地域での介護予防の取組を支援します。

これらの取組により、高齢者の自立した日常生活の支援、要介護状態等の予防や悪化防止を重点的に行っていきます。

4 施策の体系



第3章 計画の基本的な考え方

【基本施策】

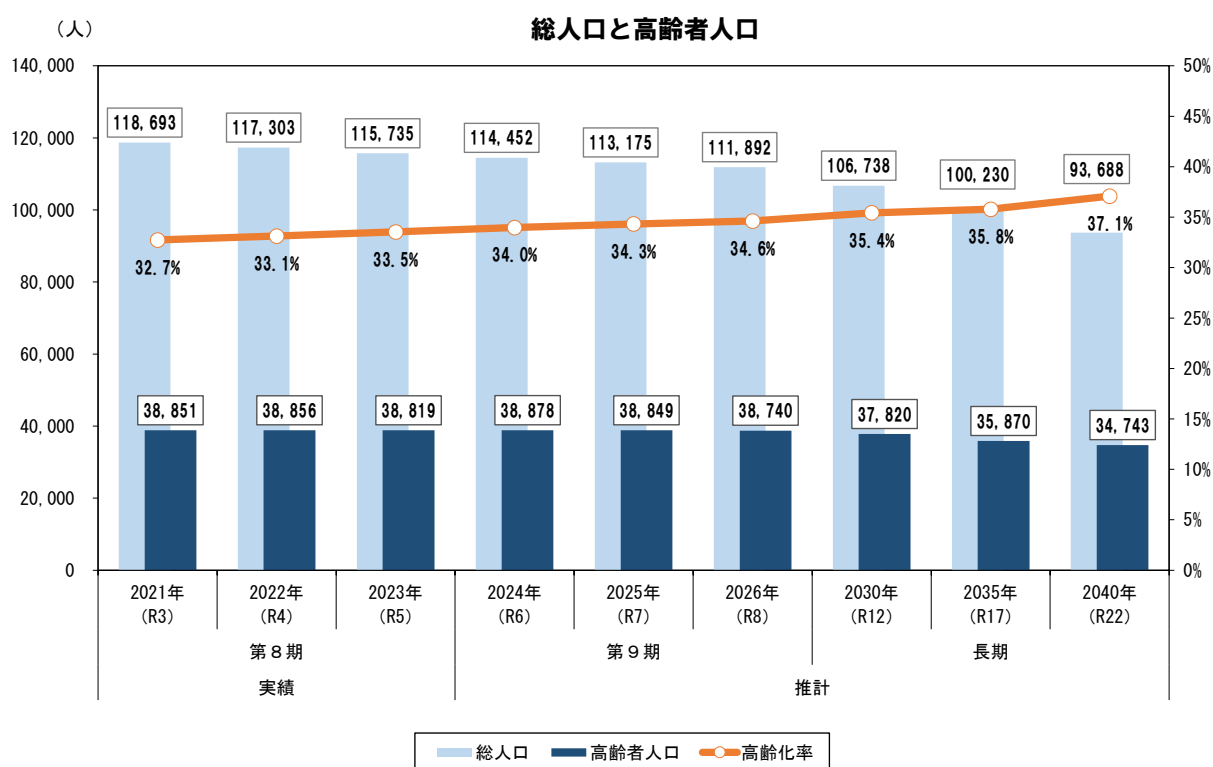
(1) 生きがいと社会参加づくりへの支援	①老人クラブの育成 ②シルバー人材センターの育成 ③地区敬老会行事奨励補助事業 ④敬老祝金支給事業 ⑤生涯学習の促進
(2) 生きがいと社会参加づくりの拠点施設	①高齢者ふれあい会館「りふれ」②高齢者福祉施設運営事業 ③老人憩の家設置補助事業
(1) 高齢者福祉サービスの充実	①高齢者緊急通報装置貸与事業 ②高齢者軽度生活援助事業 ③寝たきり高齢者移送サービス事業 ④高齢者訪問理美容サービス事業 ⑤はり、きゅう及びマッサージ施術費助成事業 ⑥運転免許証自主返納者支援事業
(2) 老人福祉施設等の運営等	①養護老人ホームの入所措置など ②高齢者生活福祉センターの運営 ③地域共生ステーション推進事業
(1) 生活環境の整備	
(2) 災害時支援体制の整備	
(3) 感染症対策の充実	①感染症予防対応力の向上に向けた研修・啓発 ②医療・介護関係者の情報共有の支援 ③適応力の高いサービス提供体制の確立 ④感染症発生時においても必要な介護サービスを継続するための連携・調整
(4) 関係団体との連携	
(5) 情報の提供・広報	
(1) 一般介護予防事業の推進	①介護予防普及啓発事業 ②健康教育相談事業 ③高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施 ④地域介護予防活動支援事業 ⑤地域リハビリテーション活動支援事業
(2) 家族介護支援事業の充実	①寝たきり高齢者紙おむつ支給事業
(3) 高齢者の見守り支援事業の充実	①地域住民グループ支援事業 ②要介護高齢者配食サービス事業
(1) 地域包括支援センターの適切な運営	①地域包括支援センターの運営 ②地域包括支援センターの機能と体制の強化 ③地域包括支援センター運営協議会
(2) 在宅医療・介護連携の推進	①地域の課題抽出と対応策の検討 ②多職種研修と住民への普及啓発 ③在宅医療・介護関係者に関する相談支援と情報共有
(3) 地域ケア会議の充実	
(4) 生活支援体制整備事業の推進	
(5) 介護予防・生活支援サービス事業の推進	
(6) 成年後見制度の利用促進 【成年後見制度利用促進基本計画】	①成年後見制度利用支援事業 ②地域における権利擁護のためのネットワークづくり
(1) 普及啓発・本人発信支援	①認知症サポーター養成と活用 ②世界アルツハイマーデー及び月間における普及啓発イベント等の開催
(2) 医療・ケア・介護サービス・介護者への支援	①認知症初期集中支援チームの運営・活用の推進 ②認知症地域支援推進員の活動の推進
(3) 認知症バリアフリーの推進、若年性認知症の人への支援・社会参加支援	①認知症高齢者見守り事業 ②認知症高齢者生活支援事業の推進 ③若年性認知症の人への支援
(4) チームオレンジ整備	
(1) 居宅介護サービス・介護予防サービス	
(2) 地域密着型介護サービス・地域密着型介護予防サービス	
(3) 施設サービス	
(4) 低所得者への配慮	①食費・居住費の軽減 ②利用者負担の軽減 ③受領委任払い制度 ④高額介護サービス費の支給 ⑤高額医療合算介護サービス費の支給
(1) 介護支援専門員（ケアマネジャー）の資質向上	
(2) 介護サービス事業者の質の向上	①介護サービス事業者集団指導 ②相談体制の充実（介護相談員派遣事業） ③事業者の指導 ④地域密着型サービス外部評価 ⑤身体拘束廃止
(3) 介護人材の確保及び業務効率化の取組	①介護人材の確保 ②業務効率化の取組 ③介護職員等の処遇改善
(4) 情報提供・情報開示	
(5) 苦情処理体制の充実	
(1) 要介護認定の適正化	①認定調査の点検 ②認定調査員の資質向上 ③主治医意見書 ④介護認定審査会
(2) ケアプラン等の点検	①ケアプランの点検 ②住宅改修の点検 ③福祉用具購入・貸与調査
(3) 縦覧点検・医療情報との突合	
(4) 協議会実施による点検	

5 将来人口等

(1) 総人口

○将来人口、将来の高齢者人口については、住民基本台帳データを用いて、コーホート変化率法により独自に推計。(※コーホート変化率法:過去における実績人口の動勢から性別・年齢1歳区分別に「変化率」を求め、それに基づき将来人口を推計する方法)

本市の総人口は、今後も緩やかな減少傾向で推移し、計画最終年度である令和8年度には111,892人に減少、さらに令和22(2040)年には93,688人にまで減少することが見込まれます。



※実績は住民基本台帳（各年10月1日現在）

(2) 40歳以上の人口

40～64歳の人口については、緩やかな減少傾向で推移し、計画最終年度である令和8年度には35,025人、令和22(2040)年度には28,188人にまで減少するものと見込まれます。

また、高齢者人口については、横ばいで推移し、令和8年度には38,740人、その後は緩やかに減少傾向で推移し、令和22(2040)年度には34,743人にまで減少するものと見込まれます。

前期高齢者(65～74歳)・後期高齢者(75歳以上)別にみると、前期高齢者は今後も減少傾向で推移し、令和8年度には16,844人に、増加傾向が続く後期高齢者は、令和8年には21,896人と見込まれます。

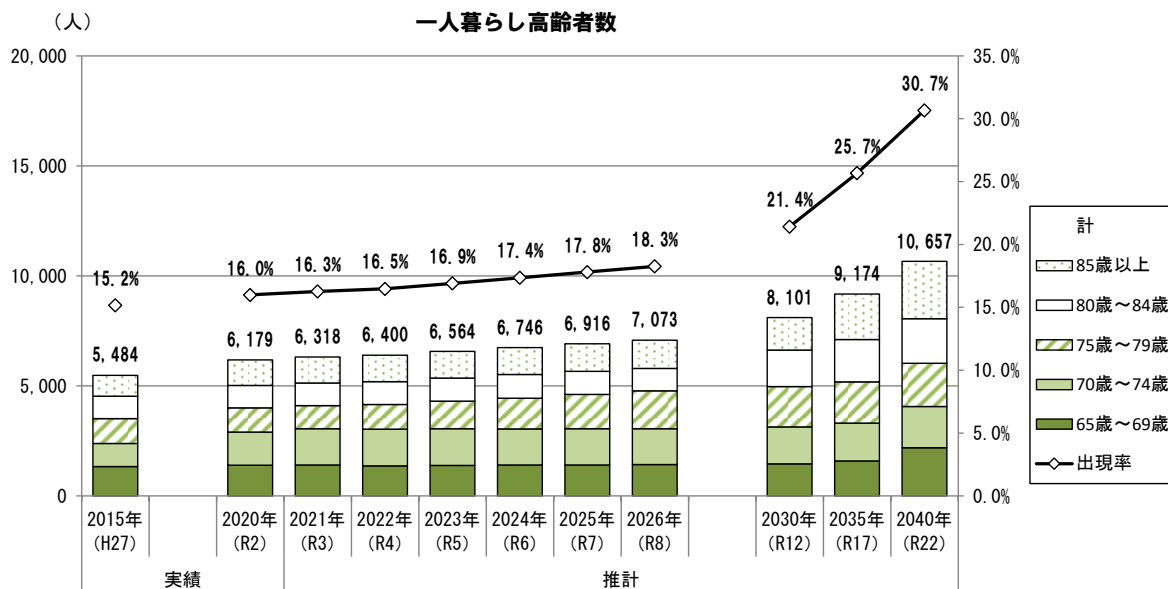
こうした結果として、高齢化率(高齢者人口の総人口に対する割合)は今後も上昇し、令和8年度には34.6%、さらに令和22(2040)年度には37.1%になるものと見込まれます。

	実 績			推 計					
	第8期			第9期			長期		
	2021年 (令和3年)	2022年 (令和4年)	2023年 (令和5年)	2024年 (令和6年)	2025年 (令和7年)	2026年 (令和8年)	2030年 (令和12年)	2035年 (令和17年)	2040年 (令和22年)
総 数	118,693	117,303	115,735	114,452	113,175	111,892	106,738	100,230	93,688
0～14歳	15,772	15,363	14,858	14,505	14,162	13,795	12,489	11,266	10,545
15～39歳	27,031	26,357	25,866	25,305	24,807	24,332	23,048	21,684	20,212
40～64歳	37,039	36,727	36,192	35,764	35,357	35,025	33,381	31,410	28,188
65歳以上	38,851	38,856	38,819	38,878	38,849	38,740	37,820	35,870	34,743
65～74歳	19,529	19,067	18,588	17,914	17,389	16,844	14,859	13,008	13,370
65～69歳	9,353	8,950	8,741	8,538	8,235	8,018	7,067	6,301	7,386
70～74歳	10,176	10,117	9,847	9,376	9,154	8,826	7,792	6,707	5,984
75歳以上	19,322	19,789	20,231	20,964	21,460	21,896	22,961	22,862	21,373
75～79歳	6,029	6,478	7,104	7,815	8,550	9,230	8,299	7,107	6,122
80～84歳	5,650	5,636	5,577	5,623	5,389	5,089	7,267	7,024	6,038
85～89歳	4,411	4,416	4,292	4,170	4,121	4,154	3,973	5,382	5,152
90歳以上	3,232	3,259	3,258	3,356	3,400	3,423	3,422	3,349	4,061
総 数	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
0～14歳	13.3%	13.1%	12.8%	12.7%	12.5%	12.3%	11.7%	11.2%	11.3%
15～39歳	22.8%	22.5%	22.3%	22.1%	21.9%	21.7%	21.6%	21.6%	21.6%
40～64歳	31.2%	31.3%	31.3%	31.2%	31.2%	31.3%	31.3%	31.3%	30.1%
65歳以上	32.7%	33.1%	33.5%	34.0%	34.3%	34.6%	35.4%	35.8%	37.1%
65～74歳	16.5%	16.3%	16.1%	15.7%	15.4%	15.1%	13.9%	13.0%	14.3%
65～69歳	7.9%	7.6%	7.6%	7.5%	7.3%	7.2%	6.6%	6.3%	7.9%
70～74歳	8.6%	8.6%	8.5%	8.2%	8.1%	7.9%	7.3%	6.7%	6.4%
75歳以上	16.3%	16.9%	17.5%	18.3%	19.0%	19.6%	21.5%	22.8%	22.8%
75～79歳	5.1%	5.5%	6.1%	6.8%	7.6%	8.2%	7.8%	7.1%	6.5%
80～84歳	4.8%	4.8%	4.8%	4.9%	4.8%	4.5%	6.8%	7.0%	6.4%
85～89歳	3.7%	3.8%	3.7%	3.6%	3.6%	3.7%	3.7%	5.4%	5.5%
90歳以上	2.7%	2.8%	2.8%	2.9%	3.0%	3.1%	3.2%	3.3%	4.3%

※実績は、住民基本台帳（各年10月1日現在）

(3) 一人暮らし高齢者数

一人暮らし高齢者数は、令和2年は 6,179 人でしたが令和8年には 7,073 人へと増加し、今後も高齢者の増加に伴い令和 22(2040)年には、10,657 人にまで増加し、約3人に 1 人が一人暮らしになると見込まれます。

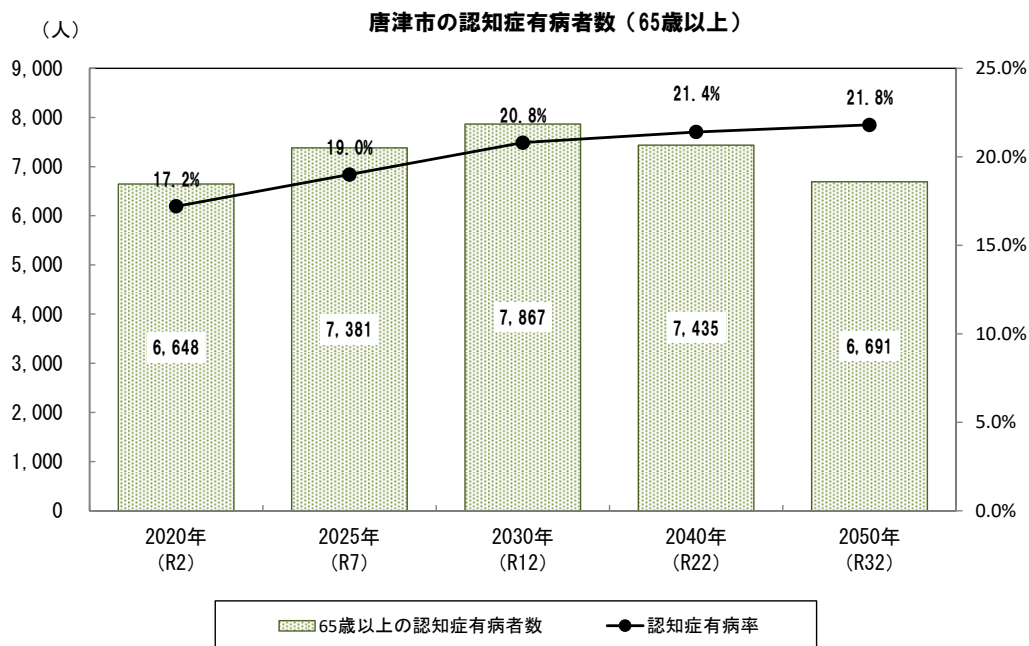


※実績は国勢調査

※性別・年齢5歳区分別の出現率法により推計

(4) 認知症高齢者数

65歳以上の高齢者の認知症患者数有病率の将来推計についてみると、認知症患者数は、令和7年には7,381人(高齢者の約5人に1人)になるものと見込まれます。



※資料：「日本における認知症の高齢者人口の将来推計に関する研究」(2014(平成26)年度厚生労働科学研究費補助金特別研究事業 九州大学二宮教授)より作成

※2012(平成24)年は有病率の全国値の実績を基に市の患者数を推計、2015(平成27)年以降は、全国のお有病率の将来推計を基に市の患者数を推計

6 日常生活圏域について

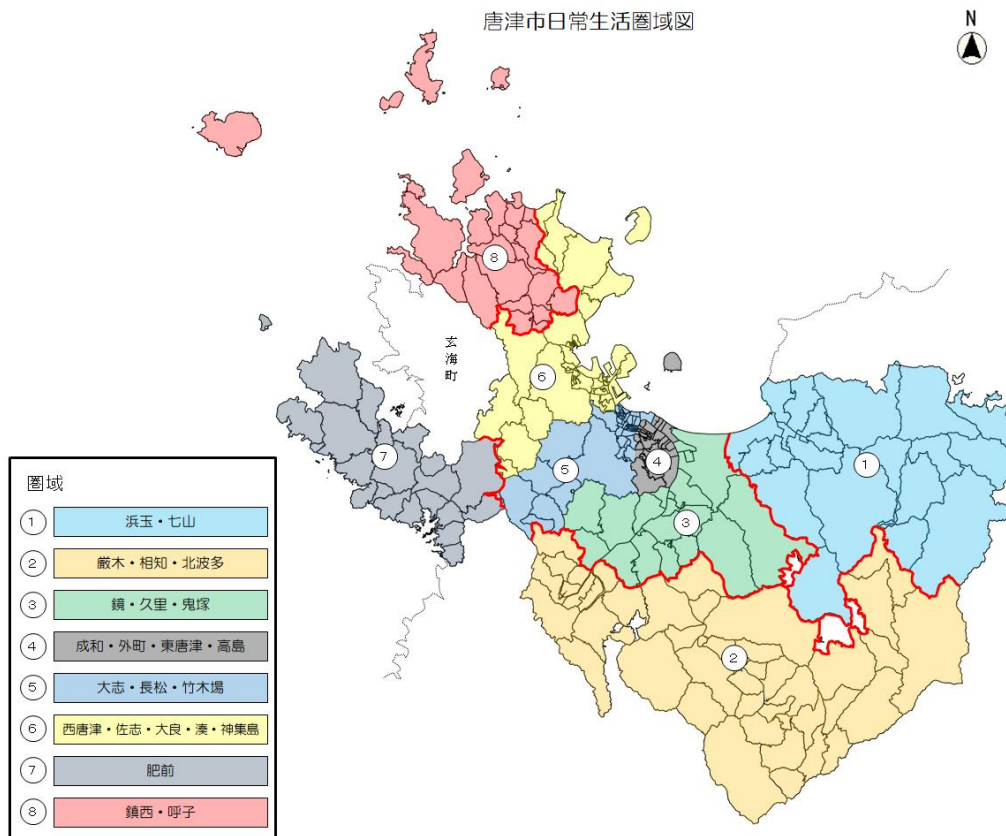
日常生活圏域は、『介護保険法』第117条第2項第1号の規定に基づき、地理的条件、人口、交通事情その他の社会的条件等を総合的に勘案して日常生活圏域を設定することになっており、国では2～3万人程度で1圏域とすることが望ましいと基本的な考え方を示しています。

本市では、第8期計画からは、地域包括ケアシステムの深化・推進を図ることから、各地域の状況等を踏まえ、8圏域の設定とし、地域においてより細やかな対応を行っています。

(1) 日常生活圏域ごとの概況

圏域区分	人口（人）	高齢者数（人）	高齢化率
浜玉・七山地域	13,606	4,038	29.7%
厳木・相知・北波多地域	14,244	6,081	42.7%
鏡・久里・鬼塚地域	23,541	6,053	25.7%
成和・外町・東唐津・高島地域	15,204	4,777	31.4%
大志・長松・竹木場地域	20,083	6,005	29.9%
西唐津・佐志・大良・湊・神集島地域	14,569	5,441	37.3%
肥前地域	5,833	2,637	45.2%
鎮西・呼子地域	8,655	3,787	43.8%
合 計	115,735	38,819	33.5%

資料：住民基本台帳人口 [2023 年（R 5）10 月 1 日現在]

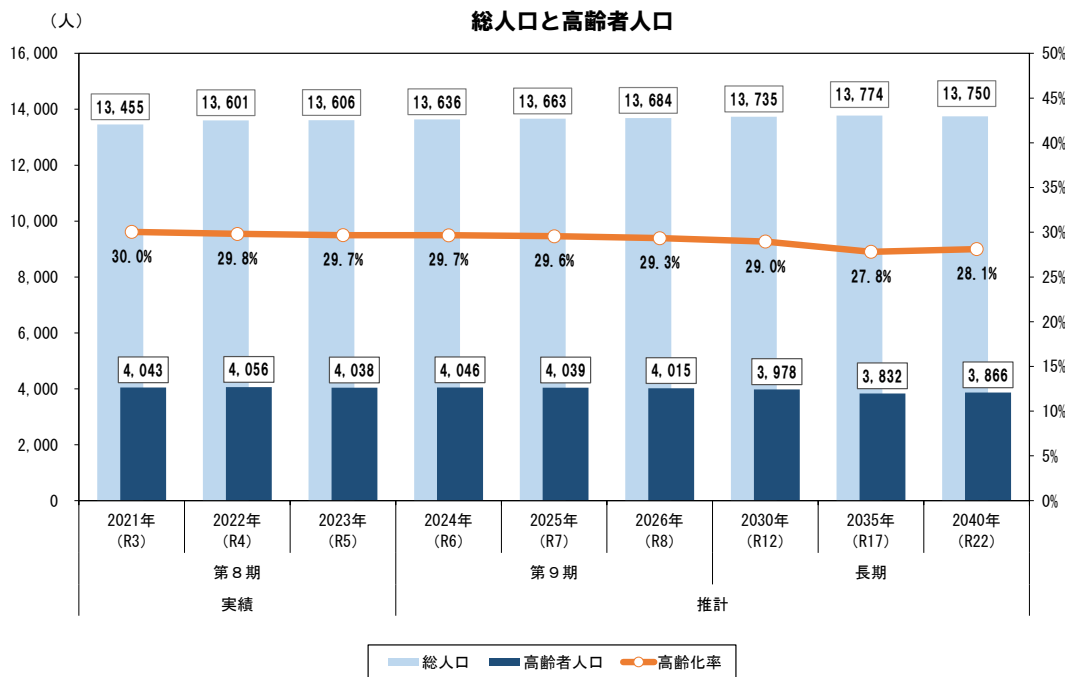


(2) 日常生活圏域ごとの人口等の推計

① 浜玉・七山地域

令和5年度から令和8年度には、地域全体の人口は78人増加し、高齢者人口は23人減少するため、高齢化率は29.7%から29.3%へと減少します。

高齢化率は、令和22(2040)年度には、28.1%になることが見込まれます。

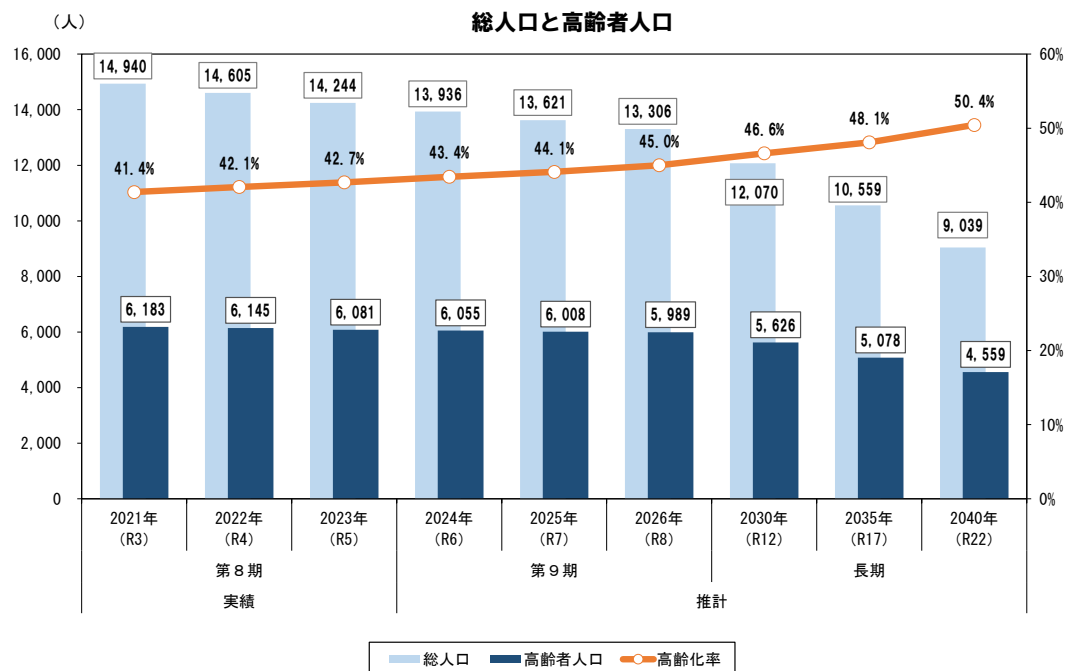


※実績は、住民基本台帳（各年10月1日現在）

② 巖木・相知・北波多地域

令和5年度から令和8年度には、地域全体の人口は938人減少し、高齢者人口は92人減少するため、高齢化率は42.7%から45.0%へと増加します。

高齢化率は、令和22(2040)年度には、50.4%にまで増加し、2人に1人が高齢者になることが見込まれます。

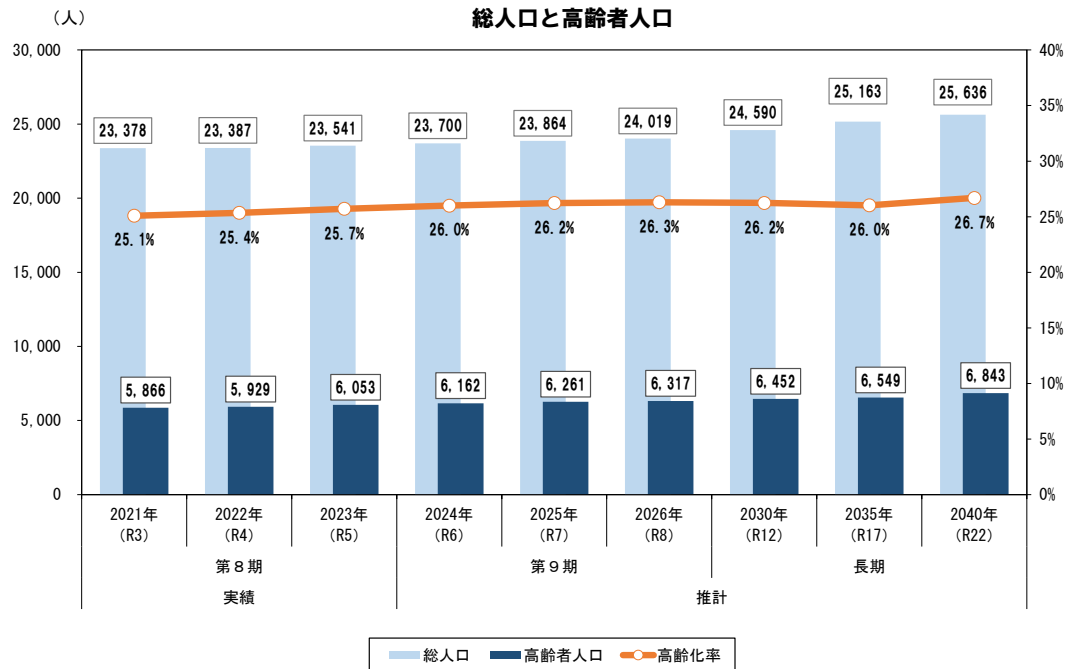


※実績は、住民基本台帳（各年10月1日現在）

③ 鏡・久里・鬼塚地域

令和5年度から令和8年度には、地域全体の人口は478人増加し、高齢者人口は264人増加するため、高齢化率は25.7%から26.3%へと増加します。

高齢化率は、令和22(2040)年度には、26.7%になることが見込まれます。

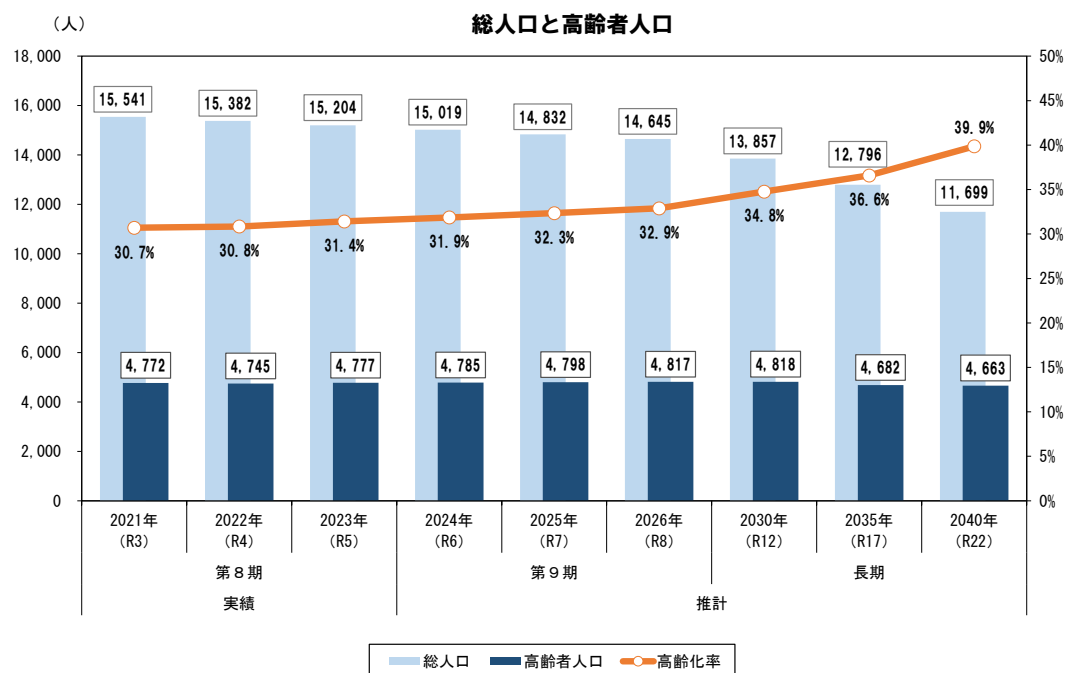


※実績は、住民基本台帳（各年10月1日現在）

④ 成和・外町・東唐津・高島地域

令和5年度から令和8年度には、地域全体の人口は559人減少し、高齢者人口は40人増加するため、高齢化率は31.4%から32.9%へと増加します。

高齢化率は、令和22(2040)年度には、39.9%にまでなることが見込まれます。

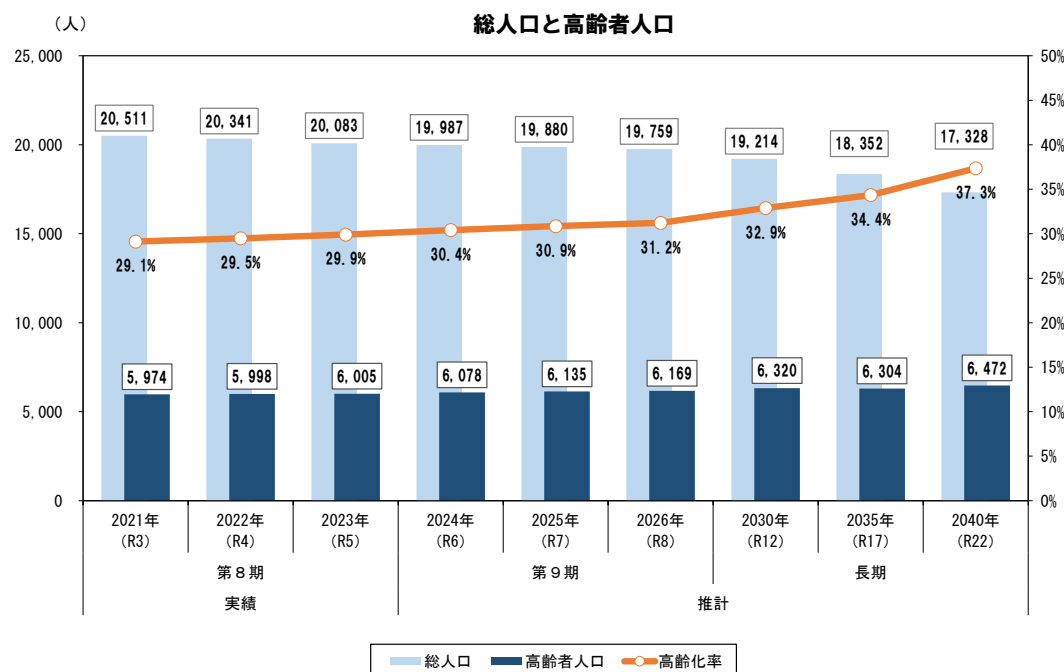


※実績は、住民基本台帳（各年10月1日現在）

⑤ 大志・長松・竹木場地域

令和5年度から令和8年度には、地域全体の人口は324人減少し、高齢者人口は164人増加するため、高齢化率は29.9%から31.2%へと増加します。

高齢化率は、令和22(2040)年度には、37.3%にまでなることが見込まれます。

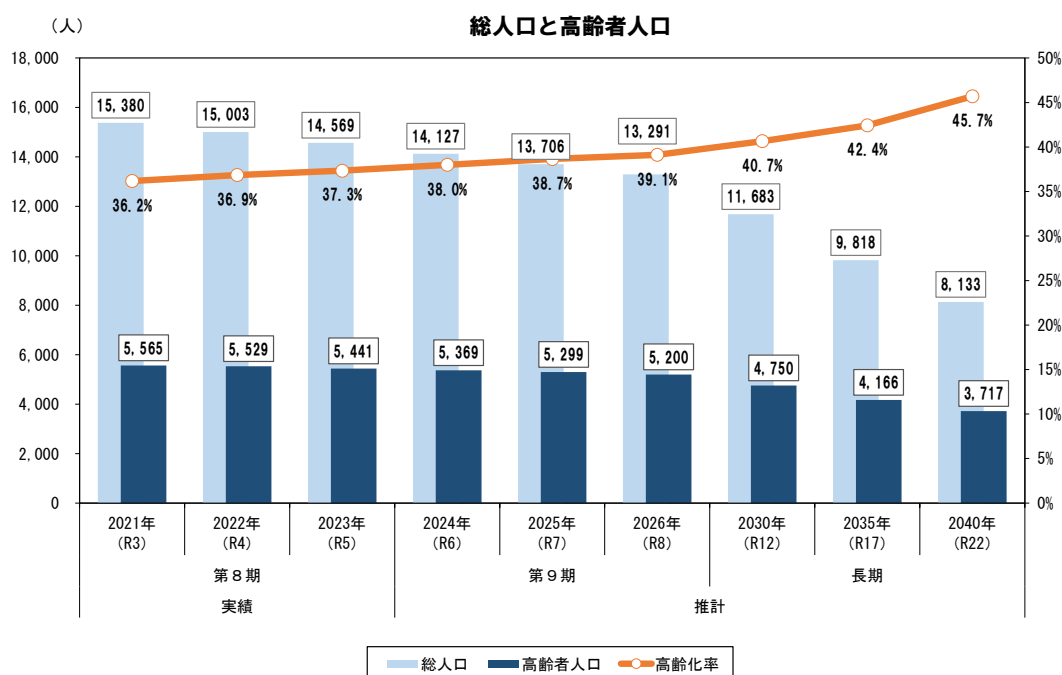


※実績は、住民基本台帳（各年10月1日現在）

⑥ 西唐津・佐志・大良・湊・神集島地域

令和5年度から令和8年度には、地域全体の人口は1,278人減少し、高齢者人口は241人減少するため、高齢化率は37.3%から39.1%へと増加します。

高齢化率は、令和22(2040)年度には、45.7%にまでなることが見込まれます。

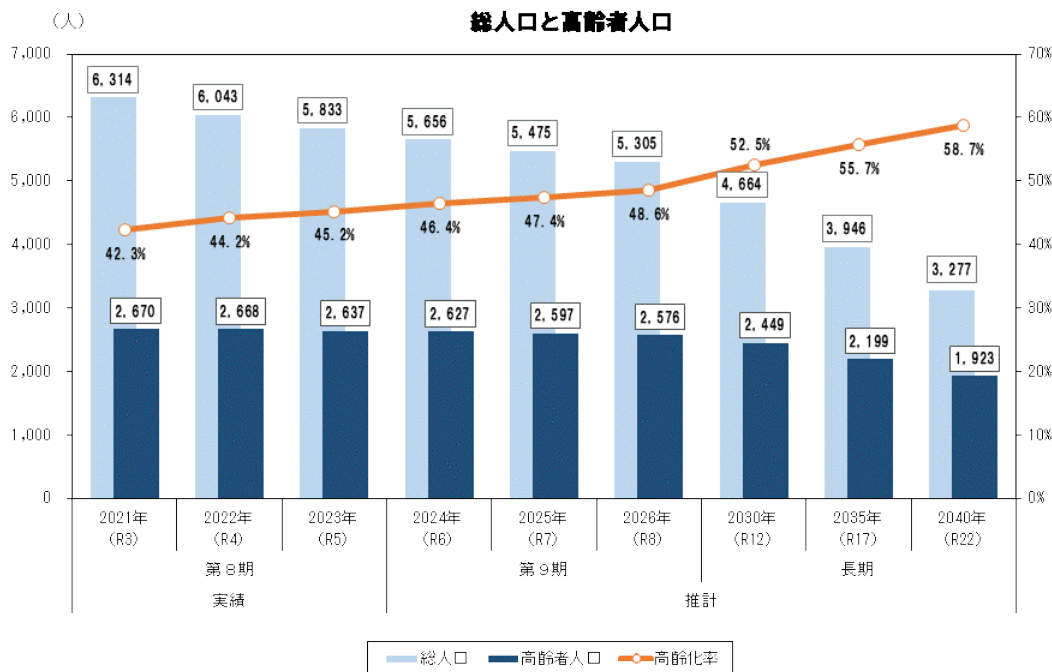


※実績は、住民基本台帳（各年10月1日現在）

⑦ 肥前地域

令和5年度から令和8年度には、地域全体の人口は528人減少し、高齢者人口は61人減少するため、高齢化率は45.2%から48.6%へと増加します。

高齢化率は、令和22(2040)年度には、58.7%と約6割が高齢者になることが見込まれます。

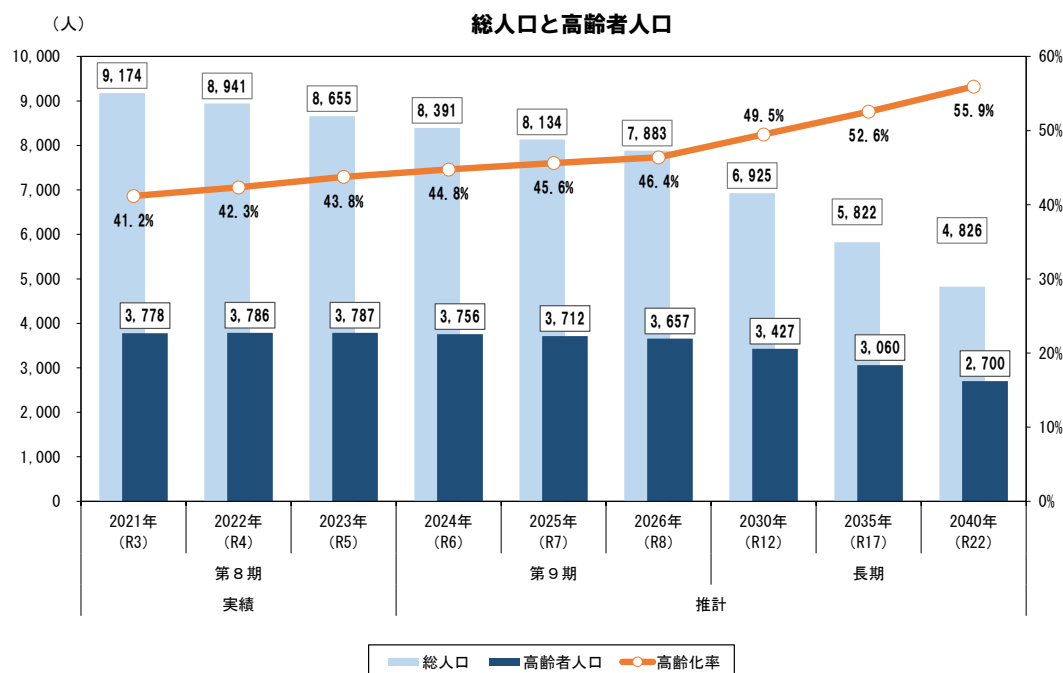


※実績は、住民基本台帳（各年10月1日現在）

⑧ 鎮西・呼子地域

令和5年度から令和8年度には、地域全体の人口は772人減少し、高齢者人口は130人減少するため、高齢化率は43.8%から46.4%へと増加します。

高齢化率は、令和22(2040)年度には、55.9%にまで増加し、2人に1人が高齢者になることが見込まれます。



※実績は、住民基本台帳（各年10月1日現在）